

全国障害児・者実態調査（仮称）に関するワーキンググループ の開催について（一部修正）

平成22年5月18日
厚生労働省 障害保健福祉部

1. ワーキンググループ開催の趣旨

障害者に係る総合的な福祉法制の制定や施行準備に向けた基礎資料を得るため、平成23年度において全国障害児・者実態調査（仮称）の実施を予定。

この調査においては、障害児・者及びこれまでの法制度では支援の対象とならない者の生活実態やニーズについて把握する必要があると考えており、調査の対象者、内容、手法等の調査のあり方について検討するために、ワーキンググループを開催する。

2. ワーキンググループのメンバー

総合福祉部会 部会長
総合福祉部会 副部会長（2名）
統計調査の経験等を有する有識者
地方公共団体の実務担当者（2名）
計6名

3. 調査に向けたスケジュール（イメージ）

平成22年5月 ワーキンググループ発足
（この間、調査項目等についての検討）
同年秋頃 試行調査の実施
平成23年春頃 試行調査の結果を踏まえた調査方法等の決定
平成23年度 本調査の実施

4. 今後の進め方

調査のあり方については、

- ① 調査の対象者や方法等の基本的な設計等について、総合福祉部会の意見を聴く
- ② 調査票の具体的な内容について、総合福祉部会の障害者（本人、家族等）団体の代表である構成員の意見を個別に聴く
- ③ その他必要に応じて、中小規模の地方自治体等の意見を個別に聴く
ことを適宜行いながら、検討を進めるものとする。

※ 波線は前回（4月27日）資料からの修正点